

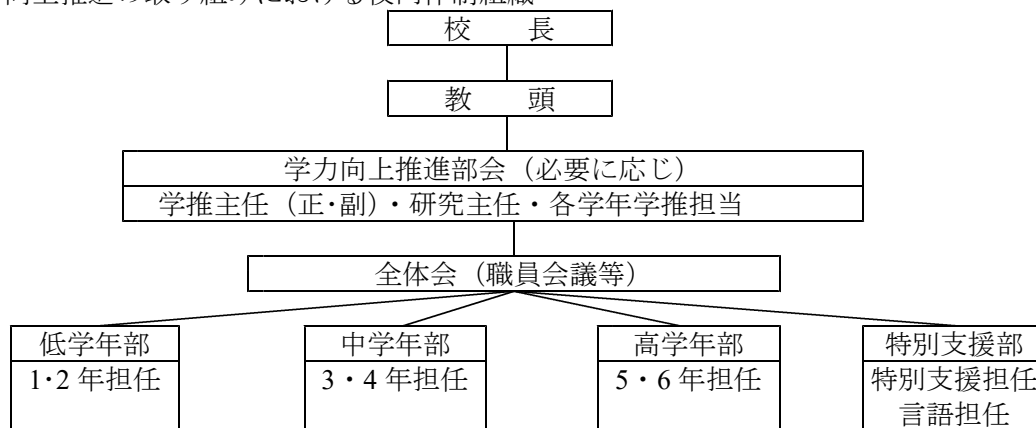
1. 学力向上推進

糸満市立糸満小学校

(1) 方針

- 『学力向上推進 5 か年プラン・プロジェクトⅡ』『「問い」が生まれる授業サポートガイド』に基づき、「確かな学力」を身につけさせる取り組みについて、全職員で共通認識を図り協働体制をとる。
- 糸満市学力向上主要施策の三本柱「支持的風土の学級・学校づくり」「子ども主体の学び合い高め合う授業づくり」「地域と共にある学校づくり」をもとにした学習活動の展開を図る。
- 日常的・継続的に取り組むことのできる「長期的な取り組み」と、期間を決めて集中的に取り組む「短期的な取り組み」を実施し、年間を通して計画的に取り組む。

(2) 学力向上推進の取り組みにおける校内体制組織



(3) 本年度の指導の努力点と具体的方策

→糸満市学力向上主要三施策をもとに展開する。

① 支持的風土のある学級・学年・学校づくり

(方針)

- 各種の教育活動に対して、職員会議などで共通確認を図り全校体制で取り組む。
- アイチェックテストを活用し、児童相互の関係を把握するとともに、テスト結果の分析・活用方法について校内研修を実施し、学級経営の改善・充実に努める。
- 道徳や特別活動の時間の充実に努める。

(具体的方策)

ア 支持的風土のある学級づくりを目指した取り組みの充実

- ・アイチェックテスト・Q-Uテストの実施とその結果の分析
- ・アイチェックテスト・Q-Uテストの結果を活用した学級づくりに関する研修
- ・道徳の授業の充実
(授業参観における道徳の授業の公開、ゲストティーチャーの活用など)
- ・青木真理先生(福島大教授)と連携した「風景画構成法」の授業の実施と、結果の分析・シェアリングによる児童の実態把握

イ 生徒指導・教育相談の充実

- ・「いじめ追放集会」の実施と、その期間中におけるいじめ撲滅運動の取り組み
- ・教育相談週間を活用した教育相談の実践
- ・「不登校児童」「気になる児童」「特別な支援を要する児童」に対してのケース会議の実施と、全職員による共通確認
- ・スクールカウンセラーやSSW、小中アシスト相談員及び外部機関と連携しての相談活動の実施
- ・スクリーニングの有効活用

ウ 「規範意識」を高めるための取り組みの充実

- ・生活安全朝会における学校生活のルール等の確認
- ・「よい子の一日」の共通確認と共通実践

エ 各種教育活動の充実

- ・「平和教育」の推進（平和集会の実施、総合的学習の時間等を活用した平和教育の実践）
- ・「国際理解教育」の推進（外国語活動の授業の充実）
- ・「キャリア教育」の推進（各学年の発達段階に応じた学習活動の展開、職場見学の実施）
- ・「海洋教育」の推進（カリキュラム・マネジメントを意識した取り組み）

② 子ども主体の学び合い高め合う授業づくり

(方針)

- 年度当初に全体で、授業中の態度や机上に出すものなどを「揃える実践」として確認し、共通で実践していくことを押さえる。（学習規律の徹底）
- 「学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ」にある「新たな時代をつくるために必要とされる資質・能力」の育成を図る。
- 校内研と連動して取り組み、授業づくりに関する理論研修の推進及び研究授業の実践を行う。
- 「一人1授業3参観」を原則とし、授業終了後は研究会を行い授業改善に努める。
- 糸満中校区小中連携研修を推進し、互いの授業参観及び合同研修などを通してさらなる授業改善・共通実践を行う。

(具体的方策)

ア 「わかる授業」の構築を目指した取り組みの充実

- ・「めあて」の明示と、「めあて」と連動した「まとめ」「ふり返り」の実践
- ・「指導と評価の一体化」による指導、1時間ごとの身につけさせたい力を意識した評価規準の設定
- ・一人1授業の授業実践及び研究会の実施→さらなる授業改善につなげる
- ・『学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ』及び『「問い」が生まれる授業サポートガイド』に関する研修
- ・各教科で「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の展開

イ 授業を支える力としての「揃える実践」の展開

- ・「学習用具の準備」及び「授業中の態度」に関する共通確認を年度当初に行い、年間を通して実践する
- ・「教材研究ツール【授業マイノート、授業プランシート】」を活用した教材研究の共通実践

ウ 家庭学習の取り組みの充実

- ・授業と連動した課題の出し方について共通確認を図る
- ※見本となる児童のノートを学級で随時紹介していく。

エ 読書活動の充実

- ・図書室を利用した調べ学習の実践
- ・年間目標冊数の設定と読書の質を高める取り組みの実践（学年ごとの推奨図書の選定など）
- ・読書月間、旬間の実施
- ・『ファミリー読書（第3日曜日の家庭教育の日の取り組みの一環として）』の推奨

オ 情報教育の推進

- ・ICTを活用した学習指導の工夫改善
- ・情報活用能力の育成やICT活用を位置づけた研修の実施
（市教委主催「ICT機器活用研修」も含む）
- ・学校ホームページの随時更新

③ 地域と共にある学校づくり

(方針)

- 本校校区に伝わる伝統行事への参加を通して、地域に対する誇りや敬愛の念を育てる取り組みを展開する。
- 地域の方々や様々なボランティアの方々の協力を仰ぎながら、効果的な学習活動の展開を図る。

(具体的方策)

ア 各種地域行事・伝統行事への参加

- ・糸満ハーレー及び関連行事（ハーレー歌大会、子どもバーレーなど）
- ・十五夜大綱引き
- ・旧正月

イ 地域行事に関する学習活動の展開

- ・総合的な学習の時間を活用した地域学習の展開
(3年 ハーレーや大綱引きの旗頭に関する学習など)
- ・道徳や特別活動でのゲストティーチャーとしての協力を仰ぐ

ウ 保護者や地域の方々の協力を仰いだ活動の展開

- ・クラブ活動や朝の読み聞かせの時間においてボランティアの方々の協力を仰ぐ
- ・民生委員や区長、字の世話役の方々との情報交換
- ・その他教育活動全般

※学校生活を支える基本的な力として「基本的な生活習慣の形成」にも意識して取り組む
(具体的な取り組み事項)

ア 生活リズムの確立

- ・早寝、早起き、朝ご飯、徒歩登校の奨励（アンケートや徒歩登校調査の結果を活用）
- ・養護教諭と連携した保健の学習、給食センター職員と連携した食育の授業の実施

イ 心身の健康に関する学習活動・教育活動の展開

- ・スクールカウンセラー、SSW との連携やカウンセリングの実施
- ・体育的活動（縄跳び名人運動「スーパー 30」）の実施
- ・薬物乱用防止教室の展開

(4) 取り組みの具体的内容

①長期的な取り組み

ア「よい学習態度」の習慣化

- チャイム指導と授業開始時の黙想を実施し、落ち着いて学習を始める。
- 家庭に「学習用具についての協力願い」を配布し、学習に必要な用具等を持ってこないように協力を依頼する。

イ クリアタイムの実施（放課後15分間）

(方針)

- 原則として、その日の授業の確認問題1～2問を出題し、できた児童から下校する。
確認問題→算数、国語（漢字の書き取り）、社会（都道府県名）等、担任・学年で決める。

② 短期的な取り組み

- ・ 学力向上月間の実施（5月，11月，1～4月）
 - 一期（5月）→学習における基礎基本の定着を図る取り組みの実施。
 - 二期（11月）→学習やる気アップ期間。児童が主体的に授業に取り組む活動の展開。
 - 三期（1～4月）→レディネスを揃える取り組みの実践。学年のまとめの実施と引継。
- ※11月を「家庭学習強化月間」とし、家庭学習の内容の充実に努める。
（よい見本の提示、家庭学習カレンダーによる家庭学習状況調査の実施など）

③ 家庭学習について

ア 内容

- その日の確認問題や次時の予習等，授業と連動した内容を与える工夫をする。

イ 目標冊数

- 年間10冊（1学期3冊，2学期4冊，3学期3冊）を目標にする。
（1年生については学年の実態に合わせる。）
- 1冊目を終えた児童に賞を与え，意欲喚起を図る。

※基本的な学習態度について（年度初めに全職員で共通理解を図る）

(1) 学習用具の準備と学習中の姿勢（学習の心構えとして年度初めに指導を徹底する）

		内 容	留 意 点
学 習 用 具 の 準 備	①用具の整理 ②机の中 ③机の上 ④筆箱の中 ⑤ノート・下敷き	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物は決められたところに置く ・教科書，ノートは時間順に右側に置き，他の用具を左側に入れる。 ・授業が終わったら次の学習に必要な用具を出して机の左側に置く。 ・鉛筆は4～5本準備する。 ・赤ペン，消しゴム，ミニ定規 ・学年・学級で決められたもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級経営の一環として教師が子どもと一緒に確認してきまりを作る。 ・時々机の中や筆箱を点検する。 ・シャープペンシルは使わない。
よ い 姿 勢	①腰のかけ方 ②教科書を読むとき ③文字を書くとき	<ul style="list-style-type: none"> ・背筋をまっすぐ伸ばす。両足を軽く開いて床上に置き，手は膝の上につく。 ・背筋を伸ばし両手でしっかりと本を持ち，本と目の間は30cmくらいあける。 ・左手でノートを押さえ，背筋を伸ばして文字を書く。 ・左手のひじは，机にのせないで書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に教師が注意を促しながら指導する。 ・家庭の協力を依頼する。 →保護者会や学級だよりなどで喚起する。

(2) 話の聞き方「あいうえお」 ※学級掲示

(あ) 相手を見て
(い) 一生懸命
(う) うなずきながら
(え) 鉛筆を置いて考えながら
(お) 終わりまで聞く
 (拍手をする。)

<p>5 学習の姿勢</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 ・背筋 ピン ・足 ピタ ・お腹 グー ②発表 ・耳につけて上に手を挙げる。(指先はピン) 静かに手を挙げる→指名されると「はい」と返事し、机の横に立つ→人数が多い方に向く。 ③聞き方→話す人の方を向く。 話の聞き方「あいうえお」の徹底</p>	<p>①座り方 背筋を伸ばし両足を床に付ける。 ②書く姿勢 紙を押さえて、さあ書こう ③挙手 肘を伸ばし耳に付け、静かに手を伸ばす。 ④発表 指名されたら「ハイ」と返事してイスをしまい、まっすぐ立って発表する (机やイスにもたれない)</p>
<p>6 学年独自の取り組み</p>	<p>①引き出しの右側(持ち帰りの部屋)を空にして整頓して(重ねて)ロッカーに片付けさせるようにしている。</p>	<p>①1日の振り返りを行う。(学習面・生活面)</p>	<p>①時計を見て意識させる。 ②金曜日には整理整頓をする時間の設定をする。</p>	<p>①1日の振り返りカードを作り、その日の振り返りを行う。(学習面・生活面)</p>	<p>①3点セットを揃える。(名札、ハンカチ、うわばき) ②ろう下の歩き方(右側を静かに)</p>	<p>①3点セットを揃える。(名札、ハンカチ、うわばき) ②ろう下の歩き方(右側を静かに) ③委員会前(7:50)にオープンスペースで学年ミーティングを実施。</p>	<p>①工具箱 右側(持ち帰りの部屋) 左側はのり、色鉛筆等、学習に必要な道具を置く。 ②工具箱は重ねて机の右側に置いて下校する。</p>